

いばしょ

かん

ししん

# 「こどもの居場所づくりに関する指針」

## とは？

かていちょう  
こども家庭庁



すべてのこどもが安全で安心して過ごせる多くの  
居場所を持つために、こども家庭庁は、こども  
の居場所づくりを進めています。



よりよいこどもの居場所が社会の中に広がって  
いくことを後押しするための方針として、  
「こどもの居場所づくりに関する指針」をつくる  
こととしています。

# いばしょ 居場所とは？



こどもが過ごす場所・時間、人との関係性すべてが、こども・若者にとって居場所になりえる。また、その場や対象を居場所と感ずるかどうかは、本人が決めることであり、そこに行くかどうか、どう過ごすかなど、こども本人の主体性を大切にする。

## いばしょ おも とくちょう 居場所の主な特徴

### こじんてき へんか ・個人的であり、変化しやすい

自分にとっての居場所が、ほかの人にとっての居場所ではないこともある。また、昨日居場所だと思っていた場が、今日は居場所だと感ずられないこともある。

### りっち ちいきせい えいきょう ・立地や地域性などの影響をうける

お寺や神社が多い地域や、商店街がある地域など、どの地域にあるのかなどによって、影響をうける。

### かんけいせい えいきょう ・人との関係性に影響をうける

だれかと一緒にいたかったり、人と距離をとって一人でいたいなど、人との関係に影響をうける。



# いばしょ 居場所づくりとは？



いばしょ  
居場所とは、こどもほんにんがき決めるものである一方で、  
いばしょ  
居場所づくりとは、だいさんしゃ（他人）がちゅうしん中心となり居  
ばしょ  
場所をつくることである。そのため、いばしょかん  
居場所と感  
じることと、いばしょ  
居場所をつくることにはへだ  
隔たりがある。

だからこそ・・・



こどものこえ  
声を聴きながら、  
こどものしてん  
視点に立ったいばしょ  
居場所づくりがじゅうよう  
重要

そのうえで・・・

それぞれのこどものとくせい  
特性や、もと  
求めているものに  
おう  
応じて、みちか  
身近にいばしょ  
居場所を持つことがたいせつ  
大切

# いばしょ こどもの居場所づくりが めざ りねん 目指す理念



すべてのこどもが安全で安心して過ごせる多くの  
居場所を持ちながら、将来にわたって幸せな状態  
で成長し、社会で活躍していけるよう、「こども  
まんなか」の居場所づくりを実現する。

## ? なぜ居場所づくりが必要なのか？

居場所がないことは孤独・孤立の問題と深く関係し、  
こどもが生きていく上で居場所があることは不可欠

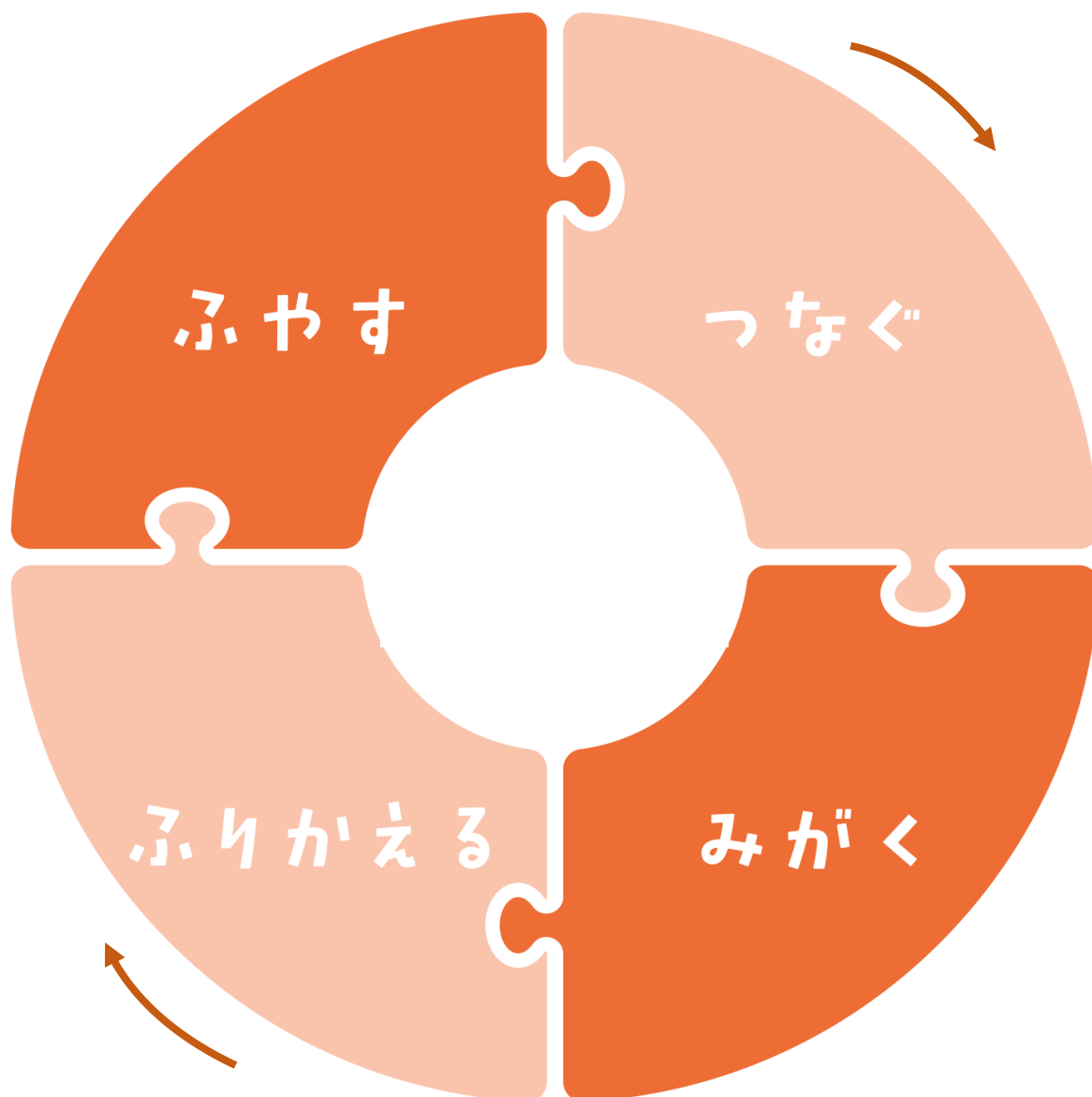
しかしながら、

- ①地域のつながりが薄くなっていて、地域の中でこどもが育ちにくい。
- ②こどもを取り巻く環境の厳しさが増している。
- ③さまざまな価値観が広がってきている。

はいけい  
といった、背景があります。

# こどもの居場所づくりを どうすすめるか？

こどもの居場所づくりをすすめるうえでの  
4つの基本的な視点



ぐるぐるまわりながら、こどもの居場所づくりを  
すすめていくことが大切

いばしょ

# こどもの居場所づくりを どうすすめるのか



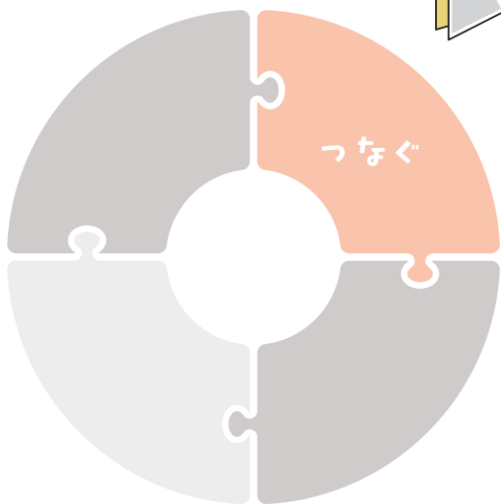
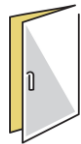
- わかもの 子ども・若者が居場所いばしょを持てているか、どういっもた居場所いばしょをもとめているのかなどを把握はあくする。

- じどうかん 児童館やこうみんかん 公民館など、すでにある施設しせつを活用かつようして居場所いばしょづくりをすすめる。

- あら 新たに居場所いばしょづくりをしたい人おうえんを応援する。

- 居場所いばしょづくりがつづ続いていくように、ささ支える。

- さいがい 災害のときでも、居場所いばしょを持てるように、ささ支える

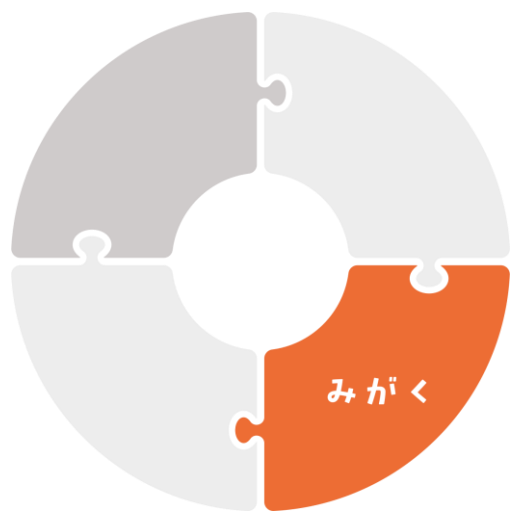


- 居場所いばしょに関する情報かんをわかりやすくじょうほうまとめて、さが探しやすくする。

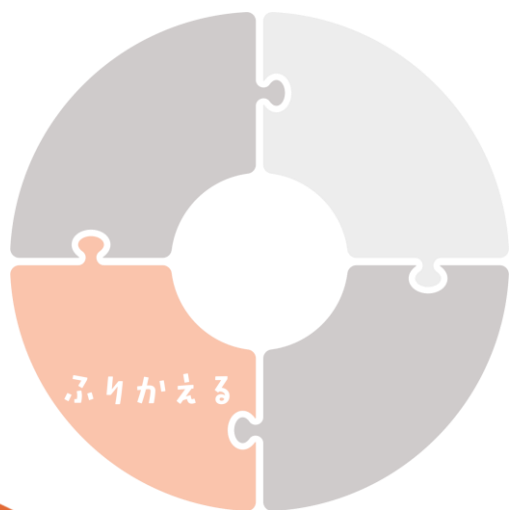
- こどもの興味きょうみにそった居場所いばしょづくりによって、りよう利用しやすいようにする。

- じぶん 自分ではなかなかりよう利用しにくい子どもも、居場所いばしょにつなくふうがるように工夫する。

# いばしょ こどもの居場所づくりを どうすすめるのか

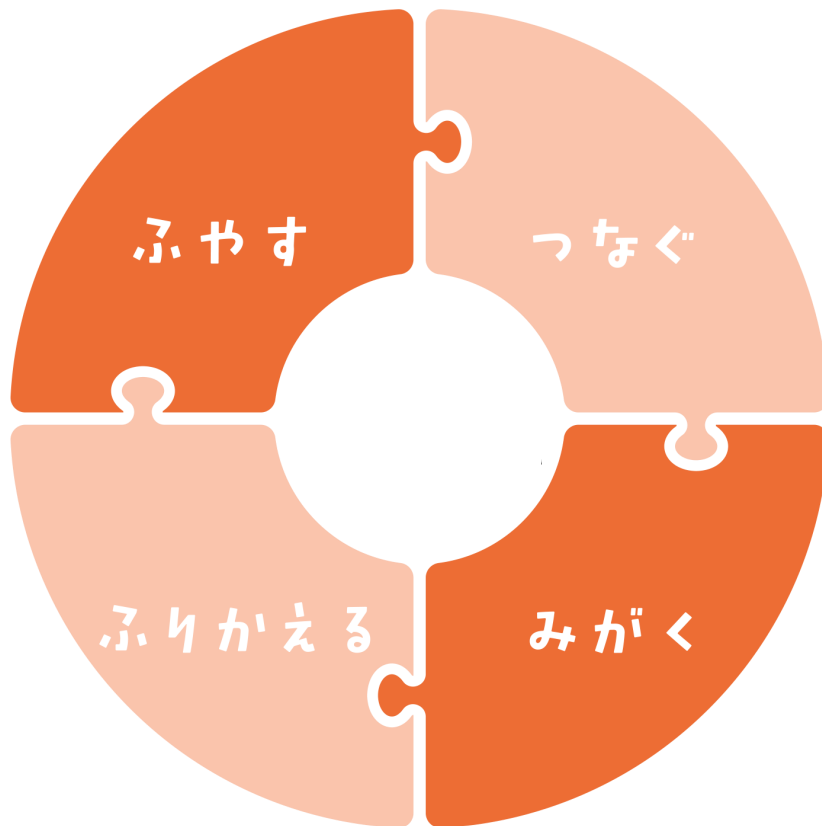


- 心身の安全が確保され、安心してすごせる居場所づくりをすすめる。  
しんしん あんぜん かくほ あんしん いばしょ
- こどもが居場所づくりに参画し、こどもとともに居場所づくりをすすめる。  
いばしょ さんかく
- どのように過ごすか、だれと過ごすかを意識した居場所づくりをすすめる。  
す す いしき いばしょ
- 居場所同士や、他の施設などと一緒に居場所づくりをすすめる。  
いばしょ どうし ほか しせつ いっしょ いばしょ
- 環境の変化にあわせて、居場所づくりをすすめる。  
かんきょう へんか いばしょ



- 居場所づくりがすすんでいるかを振り返ることは必要だが、どのように振り返るのかについては、これから検討していく。  
いばしょ ふ かえ ひつよう ふ かえ けんとう

# すべての点に共通すること



1

こどもの<sup>こえ</sup>声を聴き、こどもの<sup>してん</sup>視点に立ち、  
こどもとともに居場所をつくること

2

こどもの<sup>けんり</sup>権利<sup>\*</sup>を守る<sup>まも</sup>こと



3

<sup>くに</sup>国や<sup>やくしょ</sup>役所、<sup>しみん</sup>市民が<sup>いっしょ</sup>一緒に<sup>きょうりよく</sup>協力して、こどもの  
居場所づくりをすすめること

\*こども・若者(わかもの)の権利(けんり)とは、大事(だいじ)に育(そだ)てられることや、意見(いけん)を言(い)えることなど、こども・若者が幸(しあわ)せに生(い)きるためのけんりのこと。



# こどもの居場所づくりに関係する ひとの役割と体制



だんたい  
**団体や**  
ちいき やくわり  
**地域の役割**

だんたい ほうしん ちいき じじょう おう  
団体は、この方針をふまえて、地域の事情に応  
じた居場所づくりをすすめる。ちいき じゅうみん さん  
地域住民は、参  
か みまも せっきよくてき おこな  
加したり、こどもの見守りなどを積極的に行う  
ことを期待する。



がっこう  
**学校や**  
きぎょう やくわり  
**企業の役割**

がっこう いばしよ にんしき も  
学校は、こどもの居場所としての認識を持ちな  
がら、ほか きかん きょうりよく いばしよ  
他の機関と協力して居場所づくりをすす  
める。きぎょう うんえい せっきよくてき おこな  
企業は、運営のサポートなど積極的に行  
うことを期待する。



ちほうじちたい  
**地方自治体**  
くに やくわり  
**や国の役割**

しちょうそん いばしよ けいかくてき  
市町村は、こどもの居場所づくりを計画的にす  
すめ、とどうふけん と く ささ  
都道府県はその取り組みを支える。こど  
も かにちちよう もと いったい  
も家庭庁のリーダーシップの下、一体となって  
居場所づくりをすすめる。